

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1993 7・8

<設立35周年を迎えて>

理事長 長岡貞夫

今年がJIDの設立35周年にあたることは皆様ご承知のとおりと思います。

35年人間にたとえれば働き盛りにさしかかろうとする年令でしょうし、組織や企業にとって、30年周期説によれば、35年は第2期に移行する一つの節目といえるでしょう。

21世紀を前に世界はさまざまな極面で構造変化にさらされており、今までのシステムの問い直しによる、新しいパラダイムの再構築にシフトする時を迎えようとしています。

今年4月、通産省のデザイン奨励審議会（豊田章一郎部会長）が発表した、新世紀に向けて＜時代の変化に対応した新しいデザイン政策のあり方＞の中間答申（案）では、デザイン全般にわたって多面的な提言を行っています。

その中でインテリアデザインの関わる内容について二、三抜萃要約しますと、まず「真にゆとりと豊かさのある国民生活の実現」と題して— 国民生活における物質的な豊かさは一定の満足すべき段階に達したと考えられる。しかしながら、我々の日常生活を見渡すと、精神的な豊かさやゆとり、うるおいといった面で、なお改善の余地のある多くの課題が残されている。— と指摘し、例えば、— 耐久消費財等個別のモノの豊かさに比べ貧弱といわれる居住環境を向上させることは、生活大国実現の

目次

- 設立35周年を迎えて……………1
- 「IFI'95NAGOYA」シンボルマーク決る……………2
- '93・第1回及び第2回理事会報告……………4
- 本部委員会の動き……………11
 - ・選考委員会報告……………11
 - ・国際委員会よりの報告……………12
- 事業支部の動き……………13
 - ・9/11（土）講演会のお知らせ……………13
 - ・「孟進学園」見学記……………13
 - ・「Q.E.D. CLUB」見学記……………13
 - ・「フジタ本社ビル見学会」報告……………14
 - ・変貌をとげる「みなとみらい21」……………15
 - ・『デザインプレゼンテーションテクニックの最前線を見る』開催……………15
 - ・中部事業支部総会報告他……………16
 - ・「中部支部懇親会」開かれる……………17
 - ・「大阪デザイン団体連合総会」他……………17
 - ・歴史の町、日田での例会・見学会・懇親会……………18
- 専従事務局長推薦のお願い……………19
- 新会員名簿の頒布にご協力を……………19
- 「教員公募」2校……………20
- 「創立35周年記念事業」ロゴマーク決る……………20
- 会員の消息……………20
- 新入会員の紹介……………21
- 会員の異動……………22
- 事務局短信……………24

〔IFI'95名古屋〕メインテーマ

インテリア—新しいうねりの創造
INTERIORS: NEXT WAVE

ためにまず取り組むべき課題である。さらに個性やうろおいのある街並み公共空間作り、高齢者、障害者にとって住み良い社会システムの整備、人間性を重視した就労環境の実現なども重要である。 — と具体的に述べています。

また、未来を開くデザインの章の＜デザイン活動の概念＞で — デザインは人間の「こころ」の問題、人間の感性や文化といった高次の精神活動と分かちがたく結びついていつことから、生活者の希求するところを適切に具現化する役割を果たすことが可能な活動といえよう。

— とデザイン活動の側面にふれています。その他、デザイン国際化について — 世界経済の相互依存の深化にともない、デザイン活動のグローバル化が進み、今後一層諸外国との連携や交流の重要性が増すであろう。 — と予測しています。又デザインマインドの高揚のために、幼少期からデザインに対する理解を深めるための教材の開発、生涯学習等の場を通じた情操教育が必要とも述べています。そして締め括りとして、＜デザインの社会への一層の浸透＞で — 我が国のデザイン行政の中核となる通産省における体制の強化を図ることが必要である。このため、通産省の各種施策においてデザインの視点を更に明確にした取り組みが必要である。例えば、ニューオフィス・ニューファクトリーの推進、インテリア産業の振興、景観材料の利用推進、伝統的工芸産業の振興、博覧会、展示会等のイベントの推進等の施策を一層推進することが期待される。 — と結んでいます。従来のタテ割り行政システムから、一步踏み込んだ、クロスオーバー的システムによってデザインを広範にとらえようとする提言は、時代に即するものとして歓迎されるでしょう。

以上、中間答申の一部をご紹介しましたが、人々にゆとりと豊かの充足感をあたえるうえで、居住環境の改善と向上が今後の重要課題と位置づけていることは、インテリアデザインの将来の展望に期待を抱かせるものです。あらためて、インテリアデザインとは自問すれば、インテリアは人間の五官（感）と心理にかかわる、可視、不可視の世界を包含する内なる空間で、インテリアデザインは、最も好ましい環境に、それを付加価値化する、創造行為といえるでしょう。デザイン成熟化、高度化の中で、オリジナリティーの創造のため、クリエイターは、厳しい自己研鑽が問われる時代をむかえているといえてよいでしょう。

経済は国内外とも、ポストバブルの低迷は未だに光明をみいだせない状況にあり、デザイン界も苦悩の時期にあります。しかし、困難な時こそ人々は英知をもって、新しい価値感を創造し、次世代を構築してきたことが、歴史の事実から知ることができます。

今まで、私達は少し急ぎすぎていたようです。ここで立ちどまり、思考し、新たなエネルギーを蓄積し、つぎの飛躍のチャンスを期すべきでしょう。幸にして、協会にとっては、一つのチャンスが近づくつつあります。いうまでもなく、95年の世界インテリアデザイン会議です。この会議を過大評価することも、過小評価することも適切ではありません。しかし、95年名古屋がJIDにとって、又関連産業、さらには一般生活者にとって、インテリアの国際交流と情報のアクセスの場となり、インテリア界に一石を投じることと期待しています。

35周年、それは歴史の歩みの通過点にすぎないかもしれませんが、諸先輩が築かれた伝統ある組織をより発展させ、インテリアデザインの職能団体として、生活環境の新しい創造を通して、社会に貢献することが、私達に課せられた使命ではないでしょうか。 <完>

世界インテリアデザイン会議 IFI'95 NAGOYA シンボルマーク 決る



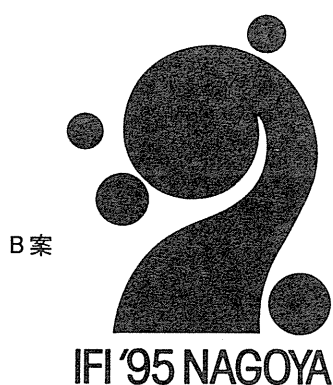
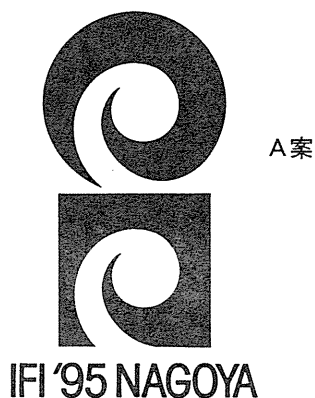
メインテーマ「INTERIORS:NEXT WAVE」に続き、今回、シンボルマークが決りました。近々、同時に制作しているポスターと共に、報道機関等を通じ正式に発表されるはこびです。

これら一連のデザインは岡本滋夫氏（JAGDA 理事、名古屋市在住）にお願いしました。

かねてより、世界インテリアデザイン会議開催準備委員会から委託を受けて、IFI'95常任委員会で検討を続けていたものですが、決定に至る経過を、ここで簡単にご報告します。

シンボルマークは、先に決定したメインテーマ「INTERIORS:NEXT WAVE」を受けて、「波」をモチーフにして考えて欲しい旨デザイナーに依頼しました。

デザイナーから出た最初の案は、A、B、Cの三案でした。この三案の中では、INTERIOR の「i」と「波」を組合わせたA案に比較的に支持が集まりましたが「i」に見え難い等の異論もありました。デザイナー側も更に考えて下さる。とのことで、委員会では次の案を待つことにしました。



その後、第二次の案としてD案、E案が提示され、第一次で残ったA案を加えて、再び三案が選考の対象になりました。

この過程で、グラフィックの専門的立場からの意見を、と言うことでJAGDAの会員でもある国際委員の山田隆二さんにも参加してもらい検討が加えられました。そして、A、D、Eの三案の中から、NEXT WAVEの「N」と「波」をモチーフにしたE案が有力な候補として浮んできました。しかし、波のイメージとしては少々固い感じがする、と言う面もあり、その点の対応について、山田さんを窓口にしてデザイナーに伝えたところ、続いてF案が岡本氏より提案されて来ました。



委員会としてはこれで決り、と考え、この段階で先のIFI'95拡大委員会でも了承を得ていました。

ところが、さらに岡本氏より、F案を提示したのは、まだプロセスであり色なども入れて展開してみると難点があった。として、さらにE案が提案され、これをマークとして推奨したい旨言ってきました。

先のE案より、文字と図の関係が調整されて、波の動きが更に出てきたように見えます。

委員会ではデザイナーの言葉を受入れて、急転了承。このたび冒頭でご覧いただきました案に決定したものです。

尚、デザイナーからのメッセージに「世界中の英知が名古屋に集結し、そこで生まれた新しい価値の創造が、大波となって世界に還元される。そのエネルギーをイメージとした」とありました。

IFI'95常任委員会委員 福田友美

'93・第1回理事会報告

1. 日 時：平成5年5月27日（木）13：00～15：00

2. 場 所：国際文化会館 会議室

東京都港区六本木5-11-16

3. 出席者名：別紙の通り

4. 議 題：

I. 議 案

第1号議案 第25回通常総会進行予定の件

第2号議案 人事承認の件

1) 第16回IFI通常総会派遣者（案）

2) IFI理事立候補者（案）

第3号議案 後援・協賛名義承認の件

第4号議案 入会及び退会承認の件

第5号議案 議事録署名人選任の件（2名）

II. 報告事項

（1）各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

（2）平成4年度会計監査完了報告

（3）平成5年度権利停止予定者

（4）通産省検査デザイン行政室々長交代人事

（5）関連団体等交代人事

（6）平成5年度3事業支部総会開催及び開催予定状況

（7）その他

- ・財務会計報告（4月分）
- ・年間行事予定表（改定版）について
- ・新会員名簿の進行状況について
- ・通産省デザイン奨励審議会中間答申（案）
- ・デザイン業振興ビジョン報告書
- ・本部事務局長の退職予定について

5. 議 事

野村事務局長より「理事総数15名中、本人出席1名、委任状4名で本理事会は成立した」旨報告がなされた。引続き、長岡理事長が議長となり議事に入った。

I. 議 案

第1号議案 第25回通常総会進行予定の件

（資料 No.6）

議長は、第1号議案について野村事務局長に説明を求めた。事務局長は資料に基づき、進行予定について説明した。

議長は、第1号議案につき理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

第2号議案 人事承認の件

（資料 No.7）

議長は、第2号議案について野村事務局長に説明を求めた。

事務局長は資料に基づき次の通り説明した。

1) 第16回 IFI通常総会派遣者（案）

本年9月英国グラスゴー市で開催されるIFI総会に派遣する代表者について、泉 修二（国際統括副理事長、IFI'95委員会副委員長）、中川 帛子（本部国際担当理事、IFI'95副委員長）、福田友美（本部国際委員長、IFI'95常任委員）の3名を派遣候補者とした。

2) IFI理事立候補者（案）

1995年に第17回IFI通常総会が名古屋で開催されるので、開催国である日本から理事を送る必要がある。ついては、中川 帛子理事（本部国際委員会担当理事、IFI'95委員会副委員長）を立候補者とした。

議長は、第2号議案の1)及び2)につき理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

第3号議案 後援・協賛名義承認の件（資料 No.8）

議長は、第3号議案について野村事務局長に説明を求めた。事務局長は、下記7件の実施予定について説明した。

議長は、第3号議案につき理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

◎第36回「東京インターナショナル・ギフト・ショー 秋'93」

協賛

1993年8月30日（月）～9月1日（水）

主催 （株）ビジネスガイド社

◎第10回「インターナショナル・ギフト・ショー 西日本・秋'93」

協賛

1993年9月16日（木）～17日（金）

主催 （株）ビジネスガイド社

（財）神戸国際交流協会

◎第5回 1993 建築仕上げ フォーラム

後援

「21世紀の家づくり・街づくり」

1993年12月8日（水）～11日（土）

主催 1993 建築仕上フォーラム組織委員会

◎国際デザインフェア'93 石川 後援
1993年10月6日(水)～11日(月)
主催 国際デザインフェア'93 石川開催委員会

◎セミナー「ひとをはかる」 協賛
1993年7月22日(木)～23日(金)
主催 生理人類学会

◎国際デザイン・コンベシヨ'93-大阪 協賛
1993年7月29日(木)
主催 (財)国際デザイン交流協会

◎国際デザイン・コンベシヨ'93-名古屋 協賛
1993年7月30日(金)
主催 (財)国際デザイン交流協会

第4号議案 入会及び退会承認の件 (資料No.9)

議長は、下記15件について野村事務局長に内容の
概括説明を求め、事務局長は各々の資料に基づき説
明した。

議長は、第4号議案につき理事会の承認を諮り、
いずれも異議なく承認された。

入 会 正会員 5件

氏 名	支 部	保 証 推 薦 人	
松本 研一	関 東	泉 修二	川上 信二
蛭名 紀之	関 東	山中 良子	石黒 正範
堀切 裕子	関 東	長岡 貞夫	小玉 靖子
安藤 真吾	関 西	清家 淳一	山田健一郎
鈴木 幸生	関 西	山口 道夫	山崎 晶

入 会 賛助会員 1件

社 名	支 部	紹介者
(株)横浜高島屋建装部	関 東	高橋 公明

退 会 正会員 8件

氏 名	支 部	氏 名	支 部
生田 晶子	関 東	林 英光	中 部
鈴木 暁	関 東	平井 進	関 西
高橋 公明	関 東	庄司 長文	関 西
吉川 弘	関 東	並川 拓史	関 西

退 会 賛助会員 1件

社 名	支 部
(株) ナ イ キ 東 京	関 東

第5号議案 議事録署名人選任の件

議長は、議事録署名人に、山本棟子、山崎 晶理
事の選任につき理事会に承認を諮り、異議なく承認
された。

(社)日本インテリアデザイナー協会1993・第
1回理事会に関し、定款第27条の定めるところに
基づき、議事経過及び議決事項を記するため、議長と
議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 長 岡 貞 夫 印
議事録署名人 山 本 棟 子 印
議事録署名人 山 崎 晶 印

1993・第1回理事会出席者

長岡 貞夫、栢原 秀榮、泉 修二、森谷 延周、 中川 帛子、宇賀 敏夫、浅野 盛治、山本 棟子、 川上 信二、山崎 晶、わたなべひろこ
理事総数15名中15名 (本人出席11名、委任状4名) (委任状) 中川千年、山口道夫、山品 元、渡辺 優
監 事 榎田 均、金子誠之助
事務局長 野村禮七郎

(順不同 敬称略)

次回1993・第2回理事会は、平成5年7月7日
(木)名古屋で開催の予定。

II. 報告事項

議長は、報告事項(1)について各事業支部担当
理事及び本部各委員会担当理事に、(2)について
榎田監事に、(3)～(7)について野村事務局長
に、新会員名簿について森谷総務担当理事に報告を
求め、それぞれ下記の通り報告した。

(1) 各事業支部及び本部各委員会の事業推進状況

・関東事業支部(資料 No.1-1) (浅野)

4月9日開催の支部委員長会議の議事内容
の中、支部内規(案)の進行状況などを中心
に資料に基づき報告した。

・中部事業支部(資料 No.1-2) (宇賀)

3月29日より5月25日までの活動状況につ

いて、去る5月8日開催の支部運営委員会の議題などを中心に資料に基づき報告した。

・関西事業支部（資料 No.1－3）（栢原）

3月29日より5月21日までの活動状況及び6月下旬までの予定について、5月21日開催の支部総会などを中心に資料に基づき報告した。

・九州事業支部（資料 No.1－4）（野村）

4月9日より5月25日までの活動状況及び6月初旬までの予定について、4月24日開催の支部総会などを中心に、中川理事委任出席のため、事務局長が資料に基づき代理報告した。

・選考委員会（野村）

3月17日に第2次審査を行った結果、'92年度協会賞に高浜和秀氏を、特別賞に（株）東京松屋専務取締役の伴 充弘氏を決定。本日午後6時より贈賞式を行う。選考状況などを資料に基づき報告した。

・総務委員会（森谷）

去る5月11日、委員会を開催、島崎選考委員長も出席し、平成5年度通常総会及び協会賞受賞記念パーティーなどの計画及び準備などについて協議し、分担を決めた。また、同パーティーに出席する来賓、報道等の対応について、出席役員及び各委員会委員の分担表を配布し、協力を要請した。その他、総会議案書の作成について、委員長が事務局に協力した。

・組織委員会（資料 No.1－5）（野村）

去る5月15日委員会を開催し、交流委員会と共同で行う予定の賛助会員との意見交換会の計画推進、6月末に全国委員会の開催などを決定した。以上山品担当理事委任出席につき事務局長が資料の基づき報告した。

・国際委員会（資料 No.1－6）（中山・帛）

開催準備委員会より、グラスゴー国際会議で行われるIFI'95名古屋紹介のスライドおよびパンフレット（英、和）作成を依頼され、関東支部の協力を得て作成する他、IFIグラスゴー総会出席者のツアーを計画することになった。11月台北で開催予定のAPSDA総会

については、逐次情報を伝えていく。

・交流委員会（浅野）

新会員名簿作成にあたり、名誉・正会員の申請に基づき、職域別分類表を、また、賛助会員は業種別分類表の作成を提案し、巻末に掲載するよう計画進行中。

・広報委員会（わたなべ）

IFI'95名古屋の広報を重点に活動しているが、今後はIFI以外の広報にも注いでいく。6月初旬に全国委員会を開催する予定。

・出版委員会（川上）

「インテリアデザイン」114号について6月に全国委員会を開催し、テーマなどの企画などを立案する予定。

・教育・研究委員会（資料 No.1－7）（山本）

会員による自主研究活動の奨励について規程（案）を作成したが、委員会だけでは決められないので、次回理事会に提議したい。また、3月に開催した全国委員会で提案されたデザイン学生とJID会員との交流会については、会員拡充などの複合的メリットも期待出来ると思われるので、交流、組織、広報など、他の委員会とも共同でベース作りを進める予定。

・報酬基準委員会（山崎）

4月以降委員会は開催していないが、検討事項を委員に配布し、書面で委員会を進行中。現在数字的な見直しはほぼ完了、コーディネーターなどの新項目を入れるよう検討中。次の委員会を6月に開催する予定。また、今年中に改訂案の説明会を開催したい。

・IFI'95委員会（資料 No.1－8）（野村）

去る3月29日より5月17日までの活動状況及び5月28日開催予定の拡大委員会について、3月29日開催の準備委員会総会で基本構想（案）などが承認されたことを中心に資料に基づき報告した。

・事務局改革委員会（栢原）

4月15日小委員会、5月18日常任委員会を開催し、職員就業規則など改訂（案）について、職員の意見を聴取し、引き続き検討中。近日中に委員会を開催し、理事会に

再度答申（案）を提出する予定。

・事務局移転準備委員会（森谷）

去る4月6日及び5月20日に委員会を開催、建築の進捗状況と与えられたインテリアの条件を踏まえ、月1回のペースで移転先のオフィスレイアウト、家具類の選定などを検討中。6月1日に間仕切りなどの要望事項を東京ガスに要請することと併せて工事現場を視察する予定。

・その他

展覧会委員会については、山口担当理事委任出席につき、報告を省略した。

（2）平成4年度会計監査完了報告（資料No.2）

去る4月21日、本部事務局において、榎田・金子両監事、野村事務局長により会計監査を実施した。なお、今回より三宅会計事務所の横山課長が立ち会った。監査結果は別紙資料の通り。

なお、決算報告の内容について、本年度より公益法人会計基準に則り、前受会費収入や借入金返済などを入れたことなど、前年度との相違点を事務局長が補足説明した。

（3）平成5年度権利停止予定者（資料No.3）

前年度の年会費未納者、正会員15名、賛助会員1社に対し、会員規程第12条1項（1）及び（2）により、向う6か月間、会員としての権利を停止する旨、資料により説明した。

（4）通産省検査デザイン行政室々長交代人事

（5月14日付）

（新）玉木 昭久（前地域振興整備公団企画調整課長）

（前）宮崎 修二（大臣官房付）

（5）関連団体等交代人事

・（社）日本インダストリアルデザイナー協会

（3月25日付）

理事長：（新）木村一男（前）鴨志田厚子

・（財）国際デザイン交流協会

会長：（新）大西正文（前）佐治敬三

専務理事：（新）北川正明（前）田中 稔

・（財）名古屋観光コンベンションビューロー

（4月1日付）

事務局長：（新）加藤寿夫（前）望月健三

参事：（新）都築英男（前）中野秀夫

事務局付課長：（新）鈴木宏始（前）蟹 憲行

（6）平成5年度3事業支部総会開催及び開催予定状況

中部事業支部 6月27日（日）

三重県渡会郡大宮町内

関西事業支部 5月21日（金） 大阪市内

九州事業支部 4月24日（土） 福岡市内

（7）その他

・財務会計報告（4月分）（資料No.4）

平成5年4月度収支実績について、資料に基づき報告した。

・年間行事予定表（改定版）について

（資料No.5）

平成5年4月より平成5年12月までの行事予定（案）及び改訂箇所について説明した。

・新会員名簿の進行状況について

掲載予定項目、広告取得状況、発行予定等の進行状況、装丁などについて、森谷総務担当理事が説明した。

・通産省デザイン奨励審議会中間答申（案）

審議会委員の長岡理事長が審議経過等について概要を説明した後回覧した。

・デザイン業振興ビジョン報告書

（財）日本産業デザイン振興会が、平成4年度の事業として中小企業庁の委託を受け、同会の中に作成委員会を設け、作成したものである旨、事務局長が概要を説明し、回覧した。

・本部事務局長の退職予定について

長岡理事長から、野村事務局長は1994年1月末日で定年退職となる。後任につき、適任者を会員の推薦などにより公募したい。

議長は、報告事項（1）～（7）について理事会の了承を求め、理事会はこれを了承した。

以上

'93・第2回理事会報告

1. 日時：平成5年7月7日（木）14：00～17：00

2. 場所：（株）サンゲツ 会議室

名古屋市西区幅下1-4-1

3. 出席者名：別紙の通り

4. 議 題：

I. 議 案

- 第1号議案 会員による自主研究活動の奨励に関するガイドライン設定承認の件
第2号議案 後援・協賛名義承認の件
第3号議案 会員入退会承認の件
第4号議案 議事録署名人選任の件（2名）

II. 報告事項

- （1）各事業支部及び本部各委員会事業推進状況
（2）平成5年度第1回支部長会議（5月28日開催）
（3）平成5年度権利停止予定取消者（5名）及び権利停止解除者（1名）
（4）通産省検査デザイン行政室課長補佐奨励班長交代人事
（5）関連団体等交代人事
（6）日本デザイン団体協議会研究会（6月29日開催）
（7）その他
・財務会計報告（5月分）
・年間行事予定表（改定版）について
・新会員名簿発行経過報告
・創立35周年記念事業について
・本部事務局夏季休暇予定（3日間）

5. 議 事

野村事務局長より「理事総数15名中、本人出席1名、委任状4名で本理事会は成立した」旨報告がなされた。引続き、長岡理事長が議長となり議事に入った。

なお、議事に先立ち、議長より来る9月上旬にグラスゴーで開催されるIFT'93会議等に正副理事長が参加のため、その間の理事長代行を森谷総務担当理事としたい旨諮り、異議なく承認された。

I. 議 案

第1号議案 会員による自主研究活動の奨励に関するガイドライン設定承認の件（資料 No.8）

議長は、第1号議案について山本教育・研究委員会担当理事に説明を求めた。山本理事は、提案の主旨及び実施手順案などについて資料に基づき説明した。

理事会は、提案の内容について検討した結果、研究に対する登録制度を設定し、JIDニュース等に登録内容を掲載するほか、定期的に研究発表会

を開催してはどうか、またその具体的な進め方については、再度、委員会で煮つめることとした。

議長は、第1号提案につきその方向づけについて理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

第2号議案 後援・協賛名義承認の件（資料 No.9）

議長は、第2号議案について野村事務局長に説明を求めた。事務局長は下記3件の実施及び実施予定について説明した。

議長は、第2号議案につき理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

◎環太平洋デザイン交流事業'93 協賛

（1）パン・パシフィックデザインフォーラム'93
1993年10月13日（水）

（2）専門家との交流会議
1993年10月14日（木）

（3）デザイン関連機関の訪問交流
1993年10月12日（火）、10月15日（金）

（4）記念レセプション
1993年10月15日（金）

主催 （財）国際デザイン交流協会

◎「第6回国際デザイン・フェスティバル」 協賛

1993年6月2日（水）～10月17日（日）

主催 （財）国際デザイン交流協会

◎「'93東京国際家具見本市」 後援

1993年11月18日（水）～21日（日）

主催 （社）国際家具産業振興会

第3号議案 会員入退会承認の件（資料 No.10）

議長は、下記6件について野村事務局長に内容の概括説明を求め、事務局長は各々の資料に基づき説明した。

議長は、第3号議案につき理事会の承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

入 会 正会員 2件

氏 名	支 部	保 証 推 薦 人
梶 清剛	関 東	藤村 盛造 松本 哲夫
梅本 正志	関 西	梶谷 博行 中村 洋介

入 会 賛助会員 1 件

社 名	支 部	紹介者
ヒストリカルデザイン(株)	関 東	事務局扱い

退 会 正会員 2 件

氏 名	支 部	
山田 勝重	関 東	定款第8条2項(4)による
藤井 優子	関 西	〃

退 会 賛助会員 1 件

社 名	支 部
(株)三越ハウジング	関 東

第4号議案 議事録署名人選任の件

議長は、議事録署名人に、わたなべ ひろこ、浅野盛治両理事の選任につき理事会に承認を諮り、異議なく承認された。

(社)日本インテリアデザイナー協会1993・第2回理事会に関し、定款27条の定めるところに基づき、議事経過及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 長 岡 貞 夫 印
議事録署名人 わたなべひろこ 印
議事録署名人 浅 野 盛 治 印

1993・第2回理事会出席者

長岡 貞夫、栢原 秀榮、泉 修二、森谷 延周、 中川 帛子、宇賀 敏夫、浅野 盛治、山本 棟子、 中川 千年、山口 道夫、わたなべひろこ
理事総数15名中15名 (本人出席11名、委任状4名) (委任状) 川上信二、山崎 晶、山品 元、渡辺 優
監 事 榎田 均、金子誠之助
事務局長 野村禮七郎

(順不同 敬称略)

次回1993・第3回理事会は、平成5年9月25日(土)東京で開催の予定。

II. 報告事項

議長は、報告事項(1)について各事業支部担当理事及び本部各委員会担当理事に、(2)～(7)について野村事務局長に報告を求め、それぞれ下記の通り報告した。

(1) 各事業支部及び本部各委員会の事業推進状況

・関東事業支部(資料 No.1-1) (浅野)

4月2日より6月30日までの活動状況の中で、IDカードについて発注先のトラブルにより、作製が大幅に遅れていたが、受注分を全員に発表したほか、去る5月29日開催の木造建築バスツアー(交流・教育・研究委員会共催)及び6月25日開催のBOSHスポンサー交歓会(出版委員会主催)などについて、資料に基づき報告した。

・中部事業支部 (宇賀)

6月4日より6月27日までの活動状況について、去る6月10日開催の支部運営委員会の議事及び6月27日開催の支部総会などを中心に、資料に基づき報告した。

・関西事業支部(資料 No.1-2) (山口)

5月28日より6月29日までの活動状況及び7月～11月の予定について、5月28日開催セミナー(国際委員会主催)及び6月15日開催の「ECHOの会」(交流委員会主催)ならびに7月5日開催予定の「大阪デザイン国際化促進協議会」などを中心に資料に基づき報告した。

・九州事業支部(資料 No.1-3) (中川・千)

5月27日より6月26日までの活動状況及び7月下旬までの予定について、去る6月26日開催の第1回月例会における支部広報誌発刊予定(年3回発行予定)などを中心に、資料に基づき報告した。

・選考委員会 (野村)

来る7月14日、第1回選考委員会を開催し、新選考委員により選考委員長を互選するほか、ポスト野口賞の企画などについて検討する予定。

・総務委員会(資料 No.1-4) (森谷)

現行の「委員会細則」は、昭和54年に一部改正されたままの状態、平成5・6年度の選考委員選挙の際にも影響を及ぼした。その他の細則も現状にそぐわない点が多いので、この際見直しが必要と思われる。総務委員会及び本部事務局でなるべく早い時期に改訂(案)を作成し、理事会に提議する予定。

・組織委員会（資料 No.1－5）（野村）

去る6月16日及び6月25日開催の組織委員会について山品担当理事委任出席につき事務局が資料に基づき報告した

・国際委員会（中川・帛）

開催準備委員会より、グラスゴー国際会議で行われるIFI'95名古屋紹介のスライドおよびパンフレット（英、和）の作製を依頼され、関東事業支部の協力を得て作製中。グラフィックイメージについては山田委員が担当、外部に発注し目下作製中。その他、グラスゴー会議総会出席者のツアーを別途企画し、会員に参加を呼び掛けた。

・交流委員会（浅野）

7月6日、委員会を開催し、通産省検査デザイン行政室長との交流会を近日中に開催することなどを決めた。

・広報委員会（わたなべ）

IFI'95名古屋以外の広報にも力を注いでいる。各事業支部に広報先名簿資料提出を依頼したが未だ集まらない。秋口に全国委員会を開催する予定。

・出版委員会（野村）

「インテリアデザイン」114号の企画について、6月29日と7月20日両日の委員会で編集方針を決定、来る8月21日全国委員会を開催し、原稿依頼、広告募集などを行う予定。発行は1994年1月の予定。以上川上担当理事委任につき、事務局が代理報告した。

・教育・研究委員会（資料 No.1－7）（山本）

会員による自主研究活動の奨励に関するガイドラインについて、本日の理事会に議案として提議する。

・展覧会委員会（山口）

各事業支部や産地などと連携した小規模の展覧会をもち、これらの集結した形として「IFI'95名古屋」での展覧会に発展させるべく企画推進中。

・報酬基準委員会（資料 No.1－6）（栢原）

去る7月2日、大阪で全国委員会を開催、前回に引続き標準料率表及びインテリアデザ

イン契約書の改訂案などを検討した。次回委員会を9月30日、名古屋で開催の予定。以上山崎担当理事委任出席のため、栢原副理事長が資料に基づき代理報告した。

・IFI'95委員会（資料 No.1－8）（野村）

5月28日より6月22日までの活動状況及び7月8日開催予定の拡大委員会について、資料に基づき報告した。

・事務局改革委員会（栢原）

職員就業規則などの改訂（案）について、6月22日職員の意見を聴取し、引続き検討中。近日中に委員会を開催し、検討結果を修正し、再度理事長に答申する予定。

・事務局移転準備委員会（資料 No.7）（森谷）

6月1日、森谷委員長、井上・前原両委員3名が移転先の工事現場を視察した。その際の記録ビデオを放映の後、6月21日開催の委員会により、ほぼ確定したオフィスプランについて、資料に基づき説明報告した。

（2）平成5年度第1回支部長会議（資料 No.2）

去る5月28日10時半より開催、平成5年度の支部事業計画と重点項目等について各支部長が報告の後、各支部発行の広報誌に他支部の情報を掲載する、支部活動の活性化による会員拡充、IDカードの普及メリットなどの問題点を討議した。

（3）平成5年度権利停止予定取消者（5名）及び権利停止解除者1名（資料 No.3）

'93・第1回理事会で報告した正会員20名、賛助会員1社の中、5月末日までに会費を納入した正会員5名については、権利停止予定を取り消す。また、権利停止者の15名中1名については、その後会費が納入されたので権利停止を解除する。

（4）通産省検査デザイン行政室課長補佐奨励班長交代人事（7月1日付）

（新）本多 誠一（前特許庁審査第1部産業機器課）

（前）川崎 芳孝（特許庁審査第1部産業機器課長）

（5）関連団体等交代人事

・（社）日本クラフトデザイン協会理事長

（5月30日付）

- (新) 工藤 省治 (前) 佐藤 信泰
・ (社) 商業施設技術団体連合会会長
(5月27日付)

(新) 高村 英也 (前) 村上 末吉
なお、JIDから派遣した代議員、浅野盛治、
片谷充克、斉藤武行、大溝 浩、中川誠一、
峰尾 武の6会員の中、片谷会員が副会長に、
浅野会員が理事にそれぞれ就任した。

- ・ (社) 国際家具産業振興会会長 (5月28日付)
(新) 景山喬二 (前) 小菅一郎 (名誉会長)

(6) 日本デザイン団体協議会主催研究会

デザインの係る著作権、知的所有権等に関
する研究会が、去る6月29日開催され、JID
からは、泉副理事長、森谷総務担当理事、井
上本部総務委員、野村事務局長が出席したほ
か、5団体の関係者18名が出席した。研究
会では、デザインに係わる著作権、知的所有
権について、各団体の現状と問題点を討議し、
今後、デザインの創造性をどう守るかを共通
のテーマとし、研究会を継続し開催すること
とした。

(7) その他

- ・ 財務会計報告 (5月分) (資料 No.5)

平成5年5月度の収支実績について、資料
に基づき報告した。次回からは、収支状況が
分かり易いフォームを添付する。

- ・ 年間行事予定表 (改定版) について

(資料 No.6)

平成5年6月より平成6年2月までの行事
予定 (案) 及び改定箇所について説明した。

- ・ 新会員名簿発行経過報告 (資料 No.7)

当初予定より1か月遅れ、去る6月25日納
品され、会員、官公庁、諸団体、学校、マス
コミ等に30日発送した。正誤表については7
月末頃作成し、会員に配布する予定。なお、
制作に協力した森谷理事より、名簿の編集は
事務局のみでは対応出来ないこと、表紙のデ
ザインやレイアウトのためのフォーマットな
ど次回に対する課題が投げかけられた。

- ・ 創立35周年の記念事業について

今秋に、創立35周年を迎えるが、特別な行

事などは予算の制約もあり難しい。しかし、
機関誌や本部及び支部の事業活動等に結び付
けて、できるだけふさわしいものにする。な
お、PRの一環として「JID35」のロゴタイプ
を用意しその活用を図る。

- ・ 本部事務局夏季休暇予定 (3日間)

8月11日 (水)、12日 (木)、13日 (金)

議長は、報告事項 (1) ~ (7) について
理事会の了承を求め、理事会はこれを了承した。

なお、議長は、他団体が主催し、JIDが出
展する展覧会などについては、主催団体と
事前に緊密に連携し、計画的に実施できる
よう、展覧会担当理事に要望した。

以上

本部委員会の動き

●選考委員会

1993年第1回選考委員会報告

(以下敬称略)

日 時 1993年7月14日

場 所 国際文化会館 18:30~21:00

出席者 ◎出席 ○委任出席

◎島崎 信 ◎浅野盛治 ◎泉 修二

○川上信二 ○喜多俊之 ◎白石勝彦

◎中村圭介 ○長岡貞夫 ◎三輪正弘

○森谷延周

事務局 野村事務局長

以上出席6名 委任出席4名

議 題 1) 委員長互選

2) JID賞・野口賞について

3) その他

上記の内容にて委員会が開かれた。

○委員長は互選の結果、島崎 信に決定した。互選に当
て川上、森谷 (委任出席) から書面にて意見が寄せられ
た。委員会の事務を円滑に運営するために書記をおくこ
とにし、浅野が担当することに決定した。

○JID賞の活性化について話し合いが行われた。多数の案
が提出された。

○空間・家具等のエレメント・テキスタイル・照明等部門
の巾と賞の数を増やし、その中よりJID大賞を選出する

方向で検討していくことにした。但し今年度の実施はむずかしいのでステップを踏んで、IFI名古屋に向けてJID賞を整備していくことにした。

○ポスト野口賞として学生賞設定のスケジュールを作ることにした。本部教育研究委員会にて清水委員長が計画をたてていることから、そのすり合せも考えていくことにした。

○JID賞、学生賞について、権威が高まるよう工夫し、マスメディアに対して、もっと積極的にPRしていくこととし結果としてJID会員増になるように計画を立てることにした。

○JID賞候補の推薦を活発にする方法について話し合いが行われた。

○東京ガス新ビル竣工にともない、オゾン大賞を設ける計画があると白石より報告があった。JIDとのかかわりについて意見交換が行われたが、結論にはいたらなかった。

○雑談を含めて、巾広く已憚のない意見の交換が行われ会議の時間が不足した。

次回委員会 1993年9月21日

JID賞について御意見がある方は事務局へお寄せ下さい。書記 浅野が整理して次回の委員会へ議題として提出検討致します。結果についてはJIDニュース委員会報告の内でお知らせします。

(選考委員会 浅野盛治)

●国際委員会

国際委員会よりの報告

国際委員会委員長 福田友美

国際委員会ではIFI'95委員会からの要請により、目下二つの作業を分担して行っています。共に、この9月に行われるグラスゴーの国際デザイン会議に持っていく物の制作です。

一つは、グラスゴー会議でIFI'95GAGOYAをPRするための「パンフレット」の制作です。パンフレットは、グラスゴーで配布するだけでなく、国内のPR用も兼ねたものになり、バイリンガルで制作しています。盛り込む内容は先に発表した「基本構想」抜萃と、大会実行委員長のメッセージなどで構成します。

パンフレットのデザインは、シンボルマークと同じ岡本滋夫氏に、他のグラフィック関係のデザインと一緒に依頼することになり、その進行を山田隆二委員が担当し

ています。

もう一つは「スライド」の制作です。こちらも名古屋をPRして、IFI'95名古屋に来てもらうためのものです。前回の「シカゴ会議」の折りに制作したものが、大変好評だったとのことで、今回も同じ方式でやることになり、そのPART-Ⅱとして目下制作中です。

こちらの担当は李泰久委員をチーフに、下島資子委員（関東支部国際委員長）及び関東支部の国際委員会の皆さんとで小委員会をつくり、現在進行中です。

今回のテーマは「体感」。名古屋にぜひ来て下さい。名古屋に来れば、こんな素晴らしいものが見られますよ！こんな楽しい体験ができますよ——！という呼びかけをメインにしたものになります。

スライド枚数70～80枚、音と連動させて、5～6分程度に仕立てます。具体的な制作は「基本構想」の時ご協力いただいたインフォネット社に、また協力してもらいます。8月末完成をめどに、目下追込みに入っています。

以上はIFI'95委員会への協力的な業務ですが、国際委員会として通常の業務の一つにIFI情報に関するものがあります。

IFI本部より、いろいろな情報が送られて来ます。IFI Newsletterなどの定期刊行物などもあります。それらの情報の中で、会員の皆さんにお知らせしたいものを抜萃して翻訳、JIDニュースに流す作業も行っています。

こちらは中川帛子担当理事を中心に、松浦勝翼委員、山田隆二委員が担当で進行します。以上、国際委員会の目下の仕事を、ざっと紹介しました。

また、APSDAに関しても、ご承知の通り、国際委員会が窓口です。JIDニュース前号でもご報告しましたように、第3回APSDA台湾会議が11月に開催されますが、その概要について、以下ご案内いたします。

— 第3回APSDA会議1993 —

— 台北・台湾 —

日 時 1993年11月5日（金）～7日（日）

場 所 台北国際会議場

1, Hsim-Yi Rd., Sec.5, 台北, 台湾.

公用語 英語、中国語

日 程 11月5日（金）

- ・登録
- ・オープニング
- ・記念講演 Steven Holl氏
- ・パーティー
- ・全体セミナーA (4 議題を予定、題目、座長は検討中)
- ” B (” ”)

※オプションツアー

11月6日(土)

- ・続全体セミナーA (4 議題を予定、題目、座長は検討中)
- ” B (” ”)
- ・全体セミナー C (” ”)

※オプションツアー

11月7日(日)

- ・主催国による特別プレゼンテーション

登録〆切 1993年8月31日

登録料 8月31日まで USドル 180

9月1日以降 USドル 200

※支払方法 銀行間の振込みのみ可(パーソナルチェック、カードは不可)

●この件の詳細は事務局はお問合せ下さい。

なお、JIDではAPSDA会議'93へのツアー実施に関しては未定です。

事業支部の動き

●関東事業支部

●9/11(土)講演会のお知らせ

主催 「明日館を保存したい者の集い」

協力 (社)日本インテリアデザイナー協会

関東事業支部 国際委員会

担当 横江、大島

講演:『国際的文化遺産としての建築物保存を考える』

講師:山口 廣 日本大学建築学科教授 建築史家

日時:9月11日(土)午後 1時30分~3時30分

会場:自由学園明日館 講堂 JR目白、池袋下車

会費:2,000円 当日 受付にて納入のこと

※F・L・ライト設計のホール他内部見学は申込先着25名

(老朽が激しい為)

申込及び詳細はFaxにて、JID事務局まで
Fax No. 03-5704-3423

●「孟進学園」見学記

このバスツアー(5月29(土))参加へのきっかけは、木材を見られるし、木の空間なんて最近めったに見なくなったし、おもしろそうという気軽な気持ちでしたから気分も服装も楽にして参加しました。バスに乗れば十人十色という感じで、いったいどんなお仕事を携えていらっしゃるのだろうと私なりに想像をふくらませてみましたが、あまり話す機会もなく終わってしまいました。「木」をテーマとしたツアーという事で、木に精通した人から、多くの話を伺いたいと思っていました。製材所見学は、大変興味深かったのですが、短時間で切り上げられてしまい、残念でした。東京営林所局庁舎の期待はずれだった事、そして長い移動時間、私はだんだんいらしてきました。それでもバスはおかまいなしで、くさいくさい牛舎の臭いと共に私を埼玉県へと運んでしまったのです。

目的地に着いた時、しかし、失望は期待へと変ったのでした。埼玉の入間市にある孟進学園は大きな台地のような所にありました。周りには緑があふれ、どこまでも続いている様でした。その中の学園は、古き日本の城下町のようにもあり、又、西洋の下町の様でもありました。その混じりあった風景は、建築家の記憶の再現ともいえる、ノスタルジックなものでした。その風景の中に、様々な情景が生まれる、複雑で、豊かな学園計画がありました。

(竹中工務店 設計部 山田真理子、新海悦子)

●「Q. E. D. CLUB」見学記

6月11日(金) 関東事業支部交流委員会によるQ.E.D. CLUB見学会が行われました。

Q.E.D. CLUBは、都心の一等地に立つ、元ハンガリー大使公邸の建物で、基礎と壁部分だけを生かし、外観と内装は新規に手を入れたものです。

和洋折衷の庭園によく似合った外観は、昭和初期のモダン建築を思わせるノスタルジックな雰囲気を感じる建物です。

内部をご説明しますと「バー」は仄かな闇の空間です。壁とバーカウンターは、輪島塗りで仕上げられており、

カウンター前は全面アールのガラス張りで、ガラス越しに見る坪庭の緑はひと続きの空間になっているかのように、自然に溶けあっています。

今日のメイン料理をいただく「ザ・クラブ」へと通じる螺旋階段は波模様の曲面エッチングガラスで囲まれており、それは見事な美しさです。

ここだけではなくこのCLUBは、ガラスの使い方がすばらしく、ラリックのテーブル、ランプ、エミール・ガレの壺、ティファニーのランプと数えられないほどの美術品に囲まれています。

さらに、庭園奥にある茶室は、千宗室氏の書も掲げられている本格的なお茶事を行うことができます。

さて、本格的ついでに本物の仏料理を味わう為のカトラリーは、ピュイフォルカ、グラスはバカラ、全てが品の良い贅沢さでまとめられています。

建築、家具、調度品が、それぞれ濃密な完成度を持っているすばらしさ、又、その空間は、決しておしつけがましくなくやさしさをも与えてくれたような気がするのです。

このような空間の中でちょっと贅沢な会員の交流ができ、各々のテーブルの話題も華やかな様子でした。

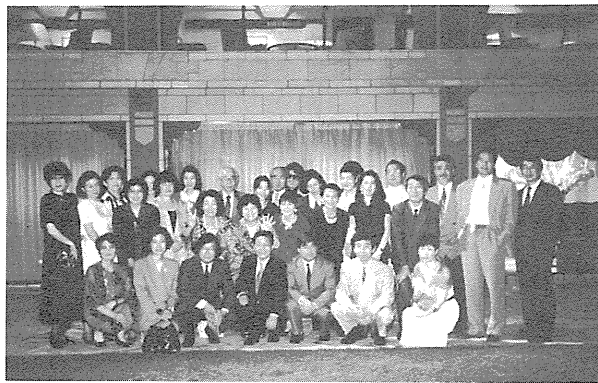
32名の参加していただいた皆様は、どのように感じられた事でしょうか。

今回の企画にも多くの会員の皆様の参加をお持ちしております。

(関東支部交流委員会 鎌田博子)



「ザ・クラブ」の会食風景



庭園で記念撮影

●「フジタ本社ビル見学会」報告

7月2日(金)、株式会社フジタのご協力を得て、昨年11月に完成した本社ビルの見学会を催しました。

当日は、フジタ本社、総務部阿部副長、山元課長、建築設計部渡土次長の皆様にご出席下さり、16階会議室で、本社ビル完成までの経緯や完成後の機能等、ビデオを使って解説していただきました。その後、出席者41名は3班に分かれ、各階を見学しました。

3階から16階までは、オフィススペースで、セキュリティシステムや、空調システムへの新しい試み、自由なレイアウトが可能な、柱のないオフィス空間等、さすが、プロのノウハウが生かされていると感心しました。

2階から地下1階までのフジタヴァンテは街の一部として、地域との調和をはかり、一般に公開されている部分です。2階展示スペースでは、現在「ケルト芸術とアイルランドアートの今日展」が開催されていますし、1階アーバンオアシスには、自然の仕組みや生命の営みについてのメカニズムが紹介されています。例えば、パドルフィッシュ飼育システムや、土壌空気浄化システム等です。又、トイレはグッドデザイン選定を受けた“ヘルシートイレ”、自然の緑を取り入れ、リラックスしながら用が足せる、という設定です。さらに、正面玄関右側には、世界中の有名なデザイナーの椅子が並ぶ“ショップ アンド カフェ”があり、好きな椅子に座ってお茶を楽しむことが出来るのです。そして、その脇のラセン階段を降りると、そこが、アミューズメントスペース。“デザインの原点”をコンセプトに、カオスの海に浮かぶのは、建築現場で集めたデータやシステムをゲームマシーンに応用した、楽しい遊園地！ここを訪れた大人や子供達は6月末現在で、すでに112,000人にも上るそうです。

午前9時50分に始まった見学会も、お昼を過ぎた頃、自由解散となり、新しい夢と可能性をいっぱいに詰め込んだ、フジタ本社ビルを後にしました。

梅雨空にもめげず、多数の会員の方々のご参加をいただき、ありがとうございました。

又、ご協力を頂きました皆様に、心から御礼申し上げます。

(交流委員会 宇田比呂美)



ビデオ館内の説明を開く参加者



館内見学風景

●変貌をとげる「みなとみらい21」

— 横浜マリタイムミュージアム
(海事博物館) を見る —

梅雨明けも間近い7月10日、増え続ける「新しい横浜」の一角、マリタイムミュージアムにおいて、35名のご参加をいただき見学会と納涼パーティーが開催されました。教育研究委員会と交流委員会の合同企画に白石勝彦氏のご協力を得たのしい集いとなりました。

横浜マリタイムミュージアムは平成元年3月に完成なったもので、明治32年建造の帆船<日本丸>が展示されている事が話題となりましたが当時のまま保存された船内も見学してみるとなかなか興味深いものでした。

横浜美術館の「ルーブル美術展」や最近オープンした

「ランドマークタワー」などの見学をされた方々に集まっていたいただき、パーティーが開かれた会場はミュージアム内のレストラン「Veu21」。エントランスホールに白石勝彦氏のヨットの模型が展示されています。日本が初参加した昨年の「アメリカンズカップ」には日本クルーの応援団としてサンディエゴまで出かけられたと云うヨット好きの白石氏が何年もかかって仕上げられたこの模型は1851年、イギリスのワイト島一周レースに優勝したと云うヨット「アメリカ号」の1/10の大変に精巧なものです。資料も乏しく、新たに図面も興されたそうでその情熱が見る側に伝わってきます。

ライトアップされた日本丸、そして何よりも白石氏の「夢とロマン」をパーティーの肴に“みなとヨコハマ”ムード満開の夏の宵のひとつでした。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

(教育研究委員会 見城美子)

●JIDセミナー

『デザイン・プレゼンテーション
・テクニックの最前線を見る』開催される。

関東事業部支部 教育研究委員会

教育研究委員会主催によるセミナー『デザイン・プレゼンテーション・テクニックの最前線を見る』（担当 尾関文夫 副委員長）が7月23日（金）赤坂見附のオカムラ ガーデン ショールーム セミナールームで開催された。

講師は、(株)松田平田インテリア設計部々長でJID会員の中川誠一氏で、手掛けられた多くの作品の中から、マルチスライドによる『第一ホテル東京シーフォートのインテリアデザイン提案』、ビデオによるプレゼンテーション『グリーンドーム前橋の設計提案』の事例を中心に映像によるプレゼンテーションを見た後、解説と講演が行われた。

デザイン・プレゼンテーションの技法はいつも私達の関心の的であり、デザイン・プレゼンテーションのツールとして映像の活用が注目されている背景もあり、タイムリーな企画であり多数の参加が予想されていたが、このセミナーを開催する会場には大型ビデオ画面や、マルチスライド用のスクリーン、さらに、環境音もプレゼンテーションの要素となっているため、ある程度の音響装置などの設備が必要であるため会場選びの苦労していた



「VTRとマルチスライドによるプレゼンテーション」



「エントランスホール正面に常設展示された自作のアメリカ号模型を説明する白石氏とパーティー参加者」

折り、(株)岡村製作所のご好意でニューオータニ ガーデンコート ショールームにあるセミナー室の提供があり開催にこぎつけた。

一方、参加申込の方は案内状の発送直後から参加申込が殺到し、会費納入の最終日の7月12日には90名を越える方々から会費が振り込まれる盛況であった。

会場の設備や収容能力の都合から人数を増やすことが不可能なため、急きょ講師、事務局、会場となる(株)岡村製作所関係者と協議した結果、予定を変更して、申込順に1番から50番迄を第1班として定刻に開始、51番以降の方を第二班として3時45分からの2回目のセミナーとする案内状を事務局から発送して2回に分けて98名が参加することができた。

セミナー終了後、1・2班参加者合同のパーティーが、浅野盛治 関東事業部支部 担当理事の乾杯の音頭で始まり、講師の中川氏、機器の操作をして下さった(株)松田平田の西尾さんを囲み7時近くまで歓談が続き、最後に今回の会場の提供などで協力を頂いた(株)岡村製作所 安藤氏(JID会員)の一本じめで閉会した。

(教育・研究委員会 長谷川 隆之)

●中部事業支部

●ジャパンナイト準備進行中

グラスゴー会議開催中の9月7日、グラスゴーヒルトンホテルで行われるジャパンナイトの準備を、IFI'95委員会のワーキンググループとして、名古屋観光コンベンションビューロー(NCVB)と共に、現在順調に進めている。紋りや風による会場演出等を計画中である。同催しには、多数のJID会員が参加予定であり、IFI'95名古屋のPRや国際親善が賑やかに行われることであろう。

●中部事業支部総会開催

6月27日、三重県度会(わたらい)郡大宮町にある「語らいの里・嘶野」で総会を開催した。本年度は、IFI'95名古屋に関連する事業が名古屋で催され、総会は例年より少々遅れての開催となった。「語らいの里」の基本構想に、当支部の奥山寿一会員が携わった関係で、同氏の力添えを頂き、同施設で閑な雰囲気総会を無事終了。その後、オーナーの吉田善三郎氏の自然に対する深い思い遣りに満ちた事業構想を語ってもらい、闇夜に飛びかう蛍を眺めながら、野外バーベキューによる懇親会を行い、夜遅くまで歓談した。

(中部事業支部長 池田高明)



「語らいの里・嘶野」外観



「支部総会」会議風景



野外で楽しいバーベキュー

●「中部支部懇親会」開かれる

去る7月7日（水）名古屋で理事会が開催されたのを機に長岡理事長を始めとする理事各氏を招き、日頃多忙な中で活躍されている中部事業支部の会員の皆様との懇親会が催されました。

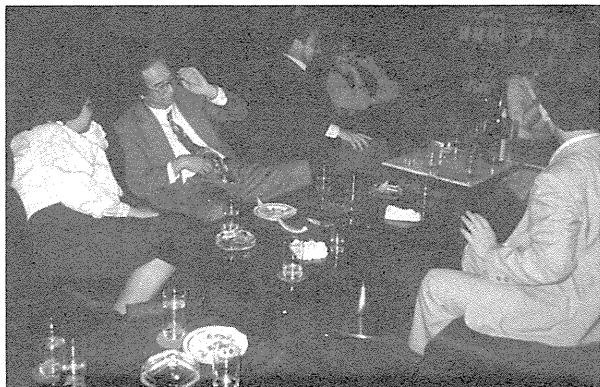
懇親会には当地域各界の来賓の方々にも出席をいただき多彩な内容の話し合いが行われました。

会はインフォーマルな雰囲気で行われ、日頃直接話すことの少ない方々との意見交換等のコミュニケーションが行われ、会員間のより一層の親睦がはかられたことと思われます。又各理事を含め会員の皆様の日頃滅多に見られない一面を拝見でき大変有意義で楽しい一時を過

ごすことができました。

当地名古屋は2年後にIFIの国際会議を控えてにわかには活気付いて来ている。今年9月のグラスゴーでの国際会議においても2年後の日本での会議に向けてアピールをしなければなりません。デザイン各界に協力を呼びかけIFI名古屋会議を成功させるよう、結束を約束して散会いたしました。

（中部事業支部交流委員会副委員長 池田慎司）



懇親会二次会なごやかな懇談会



おふざけの某理事会員

●関西事業支部

●「大阪デザイン団体連合」総会

関西事業支部が加盟している大阪デザイン団体連合（USD-0）の定例総会が6月10日大阪コクサイホテルで開催された。平成4年度事業報告・収支決算、平成5年度事業計画・収支予算承認及び役員改選が行われたが、JIDからは栢原副理事長が副会長、浅田支部長が常任幹事、川崎名誉理事が監査役に就任した。続いて懇親会に入り、加盟14団体の他、行政関係、デザイン振興団体、京阪神地区のデザイン団体からも多数の参加があり盛会であった。

●第3回＜エコーの会＞

支部交流委員会主催の第3回＜エコーの会＞が竹村楊子会員のオフィス・AD&Aで6月15日開催された。

大阪港に面した煉瓦倉庫を改装したアトリエ&ギャラリーという申し分ない会場で、竹村さん心尽しのスナックとアルコールに参加者一同大いに盛り上がり話が弾んだ。当日は東京から山本其観代会員が飛び入り参加、竹村さんの夫君・駒田哲男氏（インテリアデザイナー、AD&A代表）もホスト役としていろいろお世話いただいた。

今回は8月27日、喜多俊之氏のIDKデザイン研究所で「喜多さんを囲んで「日・伊デザインのゆくえ」」をテーマに行います。他支部からの飛び入り参加、大いに歓迎いたします。

●＜ECHO＞第3号編集スタート

好評の支部情報誌＜ECHO＞第3号の編集作業が6月29日にスタートした。

今回は10月中旬発行予定で、内容はグラスゴー会議参加報告を中心に更に中身の濃いものに仕上げる予定。ご期待下さい。

●大阪・秋のデザインイベント

関西事業支部が加盟しているデザイン団体、大阪デザイン団体連合及び大阪デザイン活動国際化促進協議会がそれぞれ秋に開催するデザインイベントの準備に本格的にスタートした。大阪デザイン活動国際化促進協議会は9月21日より3日間＜第3回アジア・デザインウィーク・イン大阪＞を開催。現在、韓国、台湾、中国、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、香港に呼びかけを行っているが、既に数か国より参加の意向が伝えられている。

大阪デザイン団体連合では、第6回国際デザイン展記念行事＜デザイナーレ'93＞として10月16日、花博記念公園内・国際陳列館で＜風の緑日（宴日）＞を開催する。

●リニントンIFI会長来阪

IFI会長R.リニントン氏が国際デザインコンペティションの審査員として来阪、7月29日開催された＜国際デザイン・コンベンション'93ー大阪＞に講師、パネリストとして参加された（喜多俊之氏も参加）。当日はJID会員も多数出席した。リニントン氏とは休憩時間に歓談、9月グラスゴーでの再会を約した。

（関西事業支部長 浅田弘之）

●九州事業支部

『歴史の町、日田での例会、見学会、そしてこん親会』

例年なら梅雨も明けているころなのに今年はグズグズ

としてはっきりしない天気が続いていいます。それでも梅雨明けを思わせる7月24日、九州事業支部は大分県日田市で7月の例会を開きました。私たち九州事業支部は年に2～3回各会員の地元を訪問し、その土地の会員を励ますことやその土地の文化遺産に直接触れること、そして何よりも会員同志の親睦をはかることを目的として1泊2日の例会を開いています。支部長を初め会員諸氏の希望で過去そうした例会が開かれてきました。

さて、今回の開催地、日田市は九州のほぼ中央部に位置し周囲を山に囲まれた人口7万人弱の盆地です。その静かなたたずまいは『西の小京都』とも呼ばれています。かつて徳川幕府は日田を天領として代官所を置き周囲の諸大名に目を光らせていたそうです。そうした時代の面影が残されている当地には文化遺産が数多く残されています。

さて、例会は日田玖珠広域産業振興センターで7月24日午後2時半から始められました。先ず支部長の「IFI'95名古屋」拡大委員会報告で始められました。つづけて支部の各委員会の報告がなされ提案や意見が活発に交わされました。又例会出席が困難な沖縄の会員からの近況報告の便りが披露されその優雅な生活に出席者の間から溜息が漏れていました。その他の報告がなされ次の例会を8月下旬に行うことを取り決め18名の出席者の例会を閉じました。

例会後、クラフトハウスヤスマさんの工場を見学させていただく予定でしたので日田市郊外の自然環境のとても素晴らしい工場に向かいました。社長の安間さんが出迎えて下さり製作工程や工夫を凝らした治具などを拝見させていただきました。会員の大半が「ヤスマ」とその作品は以前からよく知っているようで製作の過程で変化してゆく木の塊に興味深く見入っていました。和やかな交流のあと安間さんの工場を後にして日田を最も日田らしく残している豆田町を散策することにしました。掛屋と呼ばれるかつての豪商の屋敷跡、下町の人々の生活のたたずまい。その昔、菓が売れに売れて大もうけをしたことを物語っている木造三階建、物見櫓のある菓屋、又そこからの眺望は「いらかの波の古き良き時代」にタイムスリップしたような錯覚を感じました。おりしも日田の町は日田三大祭りの一つ、祇園祭りの真最中でした。十基の山鉦が町中を巡行する様は時代絵巻そのものを見ているようでした。

さて、このような例会にはメインイベントがあること

を忘れてはなりません。川幅が200メートル以上ある筑後川の上流三隅川に遊船を浮かべ心とからだに潤いを、そして日田の川からの夜景を満喫しようとシャレこみました。暮れきれない夏の夕焼けの残るころ川岸を離れた船は悠々と川の真中の方へと漕ぎ出してゆきました。昔ながらの屋形船で揃ったその数約40隻。川面に揺らぐ月明かりや旅館街のネオンを見ながらの宴は会員同志の親睦をより深め確かなものにしてゆきました。宴たけなわのころう匠が小舟に「う」を数羽とまらせての口上は宴に花を添えました。

さて、翌朝、眠い目を開けてもらい、最終コースのニッカウ スキー九州工場へと向かいました。無数の樽が並ぶ熟成棟に香るモルトの香りに舌つづみを打っていたのは私だけではなかったようです。ゲストハウスでは工場長自ら私たちを歓迎して下さりあの香りと味で私たちをもてなして下さいました。感激のうちに2日間の日程すべて終了し楽しく実りの多かった日田の例会の思い出を胸に次の例会で会えることを楽しみに三々五々、帰途につきました。(九州事業支部 梶原昭彦)



「玖珠広域産業センター」で記念撮影

専従事務局長推薦のお願い

平成5年8月
理事長 長岡 貞夫

野村事務局長には、平成元年より専従として勤務いただいておりますが、来年1月に定年退職が予定されています。

ついては去る5月27日開催の'93第1回理事会での了承を経て、現在、後任者の人選が急がれています。今後のJID発展のために、会員の皆様に適任の方をご推薦いただきたいと思います。。自薦、他薦を含めて、ぜひご協力をお願いいたします。

なお、採用にあたっては、次のような基本条件にかなう方を希望しています。

1. インテリアデザインの分野に理解があること
2. 週5日勤務が可能なこと
3. 多少とも英語の文書が扱えること
4. 報酬は本人の経歴などを勘案の上、ご相談させていただきます。
5. 採用の決定は理事会で行い、一定の試用期間を経て本採用となります。
6. 期限は平成5年9月頃までに

お心当たりのある方は、野村事務局長宛にご連絡下さるようお願いいたします。 以上

「新会員名簿の有料頒布にご協力ください。」

6月末に完成した「新会員名簿」は、会員(900有余)はもとより、官公庁・諸団体・教育・マスコミ・広告掲載先など(300有余)に配布されています。

余部の有料頒布に関しては、各事務局サイドでも努力しますが、併せて皆様方の業務上のお知り合いの方々などにもぜひお勧めください。

名簿による波及効果は、協会のPRや情報の入手など、会員のメリットにもつながるものであり、頒布にご協力をお願いいたします。

なお、一冊定価6,500円、会員購入特別価格3,500円ですが、くわしくは各支部事務局にお問い合わせください。

(総務担当理事 森谷延周)

訂正とお詫び

JID NEWS '93 5・6号のP2の「第25回通常総会報告」の文中、一部文章が欠落しておりましたのでお詫びして訂正いたします。

記

最初に「平成4年度事業報告(案)及び同収支決算報告(案)」事務局長が報告、次に同収支決算報告(案)について榎田監事が会計監査報告を行った。

議長は総会に諮り異義なく承認された。

(本部事務局)

教員公募2校

● 山口女子大学

- 1) 職名: 「教授」 1名
- 2) 所属学科: 家計学部 生活デザイン科
- 3) 担当科目: インテリアデザイン論、インテリア工芸(家具・照明器具など)
その他、実習・演習を含む
- 4) 担当時間数: 週8時間程度
- 5) 応募資格: 専攻領域において優れた業績をもつ者
- 6) 年齢: 特に問わない (定年65才)
- 7) 採用予定年月日: 平成6年4月1日
- 8) 提出書類: JID事務局にお問い合わせ下さい。
- 9) 応募期限: 平成5年11月1日
- 10) 問合せ先: 同大学 家政学部 中井 長子
☎ 0839-28-0211 (内線236)

● 大分県立芸術文化短期大学

- 1) 職名: 「専任教授」
- 2) 所属学科: 美術科 デザイン専攻 工芸
- 3) 担当科目: 工芸実技(染色)及び工芸史または工芸デザイン概論
- 4) 応募資格:
 - ・大学卒業または同等以上の実力をもつ者
 - ・大分市またはその近郊に居住可能な者
- 5) 年齢: 50~55才前後の者(定年65才)
- 6) 採用年月日: 平成6年4月1日
- 7) 提出書類: JID事務局にお問い合わせ下さい。
- 8) 応募期限: 平成5年10月末日
- 9) 問合せ先: 同大学 美術科長 山口 恭子
☎ 0975-45-4349

リクルート情報

外国人のビジネスの紹介が1件来ておりますのでお知らせ致します。

イスラエルの女性、アナイ・グリーン・ベッカー氏がデザイナーとして日本で働けるメーカー、もしくはデザイン事務所を探しております。コンタクトご希望の方は、直接本人にお問い合わせ下さい。

分野: ファニチャー、ショップデザイン、エキジビジョン、サニタリー等
経 験: 6年

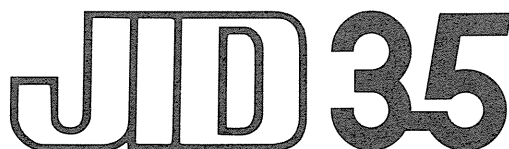
NAME: ANAI GREEN BECKER

住 所: 渋谷区上原2-20-21 ヴィラソーレ

電 話: 03-3481-9364

F A X: 03-5379-0372

学 歴: Univ. Bezalel Academy of Arts and Design Jerusalem
事務局に履歴書があります。



「創立35周年記念事業」ロゴマーク決る

JIDは、来る11月24日をもって創立満35年を迎えます。去る7月7日開催の「'93・第2回理事会」での決議により、これを記念して事業活動に使用していただく「JID35 ロゴマーク」を、本部総務委員会の協力を得て作成しましたので、今後1993年度末までに展開する事業活動の中で、催事用パネル、DM、支部広報誌に活用し、「JID創立35周年記念事業」のPRをお願いいたします。
(本部事務局)

会員の消息

◇中村圭介

永年の御支持ありがとうございました

JID結成の翌年始めて実施された、理事選挙以来連続17回毎回100票程度の票をいただき32年間理事を努めさせていただきました。昨年の選挙でも当選したのですが、任期途中で70才になるので、わがままを言い辞任しました。このたびは名誉理事に御推挙いただき身にあまる光栄と思っています。幸い元気なので、これからも頑張ります。

思い出すと、初代の大泉理事長時代の、昭和36年12月、熱海の清水建設寮で開いた最初の東西合同の理事会以来、報酬規定・著作権問題、社団結成、インテリア産業振興対策としての資格問題、JCD・産デ振・国デ協・商施連の結成を始め、10周年、20周年、30周年の行事など、私の活動の半分以上がJIDであったかも知れません。大きくなったJIDは、IFIの世界大会にむけ、更に大事な年月を迎えることでしょう。どうぞ今後もよろしく。

(名誉理事)

新入会員の紹介

●正会員

会員名及び番号		住 所 及 電 話
うめ もと まさ し 梅 本 正 志 会員番号1046 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) 梶谷設計 奈良県奈良市西ノ京101-1 〒630 TEL 0742-34-1461 FAX 0742-34-1221 奈良県奈良市敷島町2-546-122 〒631 TEL 0742-48-5417 梶谷 博行 ・ 中村 洋介
かじ せい ごう 梶 正 剛 会員番号1047 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) 梶デザイン工房 東京都杉並区梅里2-25-13 〒166 TEL 03-5378-0883 FAX 03-5378-8092 東京都杉並区梅里2-25-13 〒166 TEL 03-5378-0883 FAX 03-5378-8092 藤村 盛造 ・ 松本 哲夫

●賛助会員

会 社 名		住 所 ・ 電 話 及 び 担 当 者
ヒストリカルデザイン株式会社	住 所 担 当 者 紹 介 者	東京都杉並区荻窪3-47-23 〒167 TEL 03-5397-8451 FAX 03-5397-8452 取締役 マーケティングディレクター 茂木 まり子 事務局扱い

※旧姓 潤米 久江さん（会員番号639）が海外から戻られましたのでご紹介いたします。

佐々木 久江 会員番号639	<勤務先・事務所> <資格・その他> <自 宅>	テキスタイル アート スタジオ 東京都世田谷区玉川1-12-13 〒158 TEL 03-3709-0621 武蔵野美術短期大学 工芸デザイン科卒業 米国 ELCamino College インテリアデザイン専攻 東京都大田区大森北3-32-2 〒143 TEL 03-5471-5263
-------------------	------------------------------------	--

会 員 の 異 動

※会員名簿1993～1994版からの異動を掲載しております。

会 員 名	異 動 事 項	新
川端 二郎 (名誉 P34)	勤務先	フリー
浅野 盛治 (関東 P46)	自宅移転	神奈川県横浜市緑区西八朔4-19 〒227 TEL/FAX 045-931-7569
有川 高志 (関東 P47)	自宅移転	神奈川県横浜市神奈川区子安台1-8-22-203 〒221 TEL 045-402-7588
伊東 博昭 (関東 P53)	自宅移転	東京都世田谷区玉川3-9-7 ヴェルウッド玉川201 〒158
佐々木 信吾 (関東 P83)	事務所名称	(株)ディーエヌピースペースデザイン
高岡 貞子 (関東 P96)	事務所移転	東京都杉並区梅里2-4-11-606 〒166 TEL/FAX 03-3315-7935
宮沢 靖 (関東 P131)	事務所 TEL・FAX	TEL 03-5490-0694 FAX 03-5490-0695
森谷 延周 (関東 P136)	自宅 TEL/FAX	TEL/FAX 03-3308-3543
山崎 尊 (関東 P138)	事務所移転	三井デザインテック(株) アーバン事業部 デザイン設計課 東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿木村屋ビル15F 〒160 TEL 03-5386-7633 FAX 03-5386-7642

若松 勝喜 (関東 P145)	勤務先 自宅移転	PISA (東京プリンスホテル内) チーフデザイナー 東京都足立区千住曙町41-5 アコール北千住1101 〒120 TEL/FAX3870-6623
福岡 喜久雄 (関西 P183)	事務所名称	アティーズ株式会社
前田 捷美 (関西 P184)	自宅移転	兵庫県芦屋楠町12番20-505
安井 忠生 (関西 P188)	事務所移転	大阪市中央区北浜3-5-4 〒541 TEL 06-231-5206 FAX 06-231-5136
山口 道夫 (関西 P189)	事務所移転	大阪府池田市伏尾台5-1-5-917 〒563 TEL/FAX 0727-51-7366
愛知 株式会社 (賛助 P205)	担当者 役職	室長
株式会社 横浜高島屋 建装部 (賛助)	移転	神奈川県横浜市西区北幸2-11-1 〒220 高島屋 第二別館

株式会社 ト ミ タ

〒104 東京都中央区京橋 2-3-16
TEL 03-3273-7551 FAX 03-3273-7577
東京・大阪・福岡・札幌
富田 順三 (東京営業部 取締役常務)

株式会社 ニ チ ベ イ

〒103 東京都中央区日本橋 3-15-4 TEL 03-3272-2011(代)
北海道・東北・新潟・東関東・関東・東京・多摩・千葉・横浜・静岡・長野・
金沢・名古屋・京都・大阪・神戸・岡山・広島・四国・九州・沖縄・他
齋藤 憲一 (商品企画部)

株式会社ナショナルトレーディング

〒106 港区南麻布 4-5-2
TEL 03-3442-4791(代) FAX 03-3447-4048
藤原 秀典 (取締役)

株式会社日建設計

大阪 〒541 大阪市中央区高麗橋 4-6-2 TEL 06-203-2361
東京 〒112 東京都文京区後楽 1-4-27 TEL 03-3813-3361
名古屋 名古屋市中区栄 4-15-32 TEL 052-261-6131
中小路 泰久 (大阪スタジオ インテリア部長)

●事務局短信

- ① 長かった梅雨もやっと明けたのも束の間、早くも台風の到来で九州はじめ各地に被害をもたらしています。先日は北海道で地震による津波などもあり、冷夏の異常気象の中、被災地にお住いの会員の皆様方に心からお見舞いを申し上げます。
- ② JIDの前身である「日本室内設計家協会」が設立されたのが1958年11月、今年は創立35周年を迎えます。「JID30」から早や5年、この間会員数も正会員250名、賛助会員40社が増えました。「IFI' 95名古屋」を2年後に控え、JIDの社会的地位もますます向上しつつあります。このたび、創立35周年の意義を高めるために、ロゴマークをつくりました。今秋開催の本支部事業活動を通じ、内外にPRしていただくようお願い致します。
- ③ IDカードの新外注先もやっと決り、制作が順調に進むようになりました。当初は遅延や誤字などで申し込みいただいた会員各位に大変ご迷惑をおかけしまし

た。今後は全会員に普及させ、付加価値を高めて行きたいと思います。お持ちでない方は制作費3,000円と写真2枚を添えて現金書留で事務局宛お申し込み下さい。

なお、新会員名簿発行を契機に「FAX同報通信サービス」を再開いたしますので、名簿発行後にFAXを導入された方は、事務局宛にFAX番号をご登録願います。

- ④ 本年度も10月1日より下半期を迎えます。会費の納入は前納が原則です。会費未納の方は、今後の事業運営に支障をきたしますので、大至急納入下さるようお願いいたします。

注：会員規定第7条2

会費の納入は前納とする。ただし半年ごとに分納することも出来る。

以上

株式会社 日 総 建

〒151 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-34-14
TEL 03-5478-9717
インテリア部門

(財)日本産業デザイン振興会

〒105 東京都港区浜松町 2-4-1
世界貿易センタービル別館 4階
TEL 03-3435-5633(代)
遠藤 実(総務部長)

日本インターフェイスヒューガ(株)

東京都港区西麻布 1-2-7 第17 興和ビル5階
TEL 03-3402-4191 FAX 03-3402-8930
東京・大阪・名古屋・札幌・仙台・横浜・福岡
鈴木 健弼(営業開発部)

日本装備株式会社

〒105 東京都港区芝大門 2-11-6
TEL 03-3434-8886
熊野 重之(デザイン室 室長)

1993/7・8

1993年8月20日発行 (社団法人日本インテリアデザイナー協会月報1991年通巻第177号)

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会事務局 印刷所・株式会社 ユリクリエイト
東京都渋谷区恵比寿南2-13-14 茶屋坂T&Kビル3F
TEL 03-5704-3421 FAX 03-5704-3423 振替・東京 8-76389

●新会員名簿（1993～1994）の中で、元原稿や作業上の手違い、さらにその後の変更などをまとめて、正誤表（平成5年7月末現在）を作成しました。

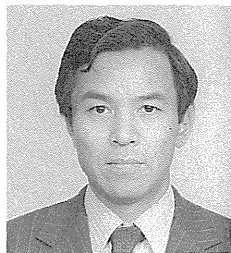
大変ご面倒ですが、ご訂正をお願いいたします。

（JID 本部事務局）

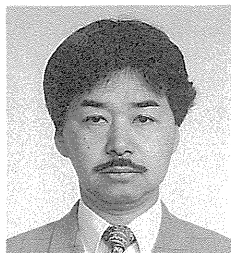
[正 誤 表]

名 前	頁	誤	正
工 藤 広 忠	名誉 P35	（会員番号5）	すべて余白
玉 置 勇 一	〃 P37	会社 〒461	〒486
泉 修 二	関東 P51	会社 郵便番号	〒151
内 堀 繁 生	〃 P57	自宅 〒250	〒176
神 戸 靖 二	〃 P77	自宅住所 牛久市	牛久市
小 坂 希八郎	〃 P77	自宅住所 南区永田区北	南区永田北
下 島 資 子	〃 P88	会社 ☎03—3409—3211	☎03—3409—3231
杉 本 眞二郎	〃 P90	会社住所 2—7—18	2—36—5
高 橋 紘 生	〃 P97	自宅 〒342	〒344
田 中 典 夫	〃 P101	会社・自宅 〒350—11	〒356
谷 本 邦 彦	〃 P102	自宅 〒220	〒222
遠 山 崇	〃 P104	上下写真の入れ替え	當山建道会員と写真入れ替え（別紙にて貼付）
萩 原 多恵子	〃 P114	会社 〒156 自宅 〒150	会社 〒150 自宅 〒156
藤 木 修	〃 P120	会社 〒100	〒103
森 谷 延 周	〃 P136	自宅 ☎・FAX03—3308—1410	☎・FAX03—3308—3543
山 本 其観代	〃 P141	自宅 〒237	〒273
吉田 ジュンコ	〃 P144	会社・自宅住所 239—1—230	239—1—210
池 田 高 明	中部 P149	自宅住所 名古屋中区	名古屋市中区
長 坂 信	〃 P156	記載順序の誤り	P155 丹尾敬吾会員とすべて入れ替え
東 友 文	関西 P164	自宅 〒590—01	〒590—02
山 口 道 夫	〃 P189	自宅住所 5—1—5—197 会社住所 大阪市西区靱本町	5—1—5—917 大阪府池田市伏尾台5—1—5—917 〒563 ☎・FAX0727—51—7366
高 濱 洋 子	九州 P199	自宅住所 344—33	3438—33
㈱ 川 島 織 物	賛助 P209	記載内容の誤り	該当箇所に別紙を貼付して下さい。
住 江 織 物 ㈱	〃 P214	担当者 部長	課長
ト ー ソ ー ㈱	〃 P220	常務取締役商品開発本部長 大谷文行	開発室長 中島正利
富士ファニチア㈱	〃 P226	社名 富士	富士
リリカラ ㈱	〃 P232	担当者 河合	川合
日本デザイン団体協議会	加入 P261	記載漏れ	JID (株) 日本インテリアデザイナー協会
通産省工業技術院 製品科学研究所	関連 P266	製品科学研究所 ☎0298—54—6621	生命工学工業技術研究所 ☎0298—54—6022

P 104



當山建道



遠山 崇

P 209

株川島織物

〔会社（事務所）住所〕京都市上京区東堀川通一条上ル 堅富田町432 〒602

☎075-414-9700

〈支社・支店〉 東日本営業本部 東京都千代田区永田町2丁目14-2 山王グランドビル
5階 〒100 ☎03-3506-0800 F A X 03-3506-0813

西日本営業本部 大阪市北区堂島1丁目1-5 梅田新道ビル6階
〒530 ☎06-347-0451 F A X 06-347-0463

〈主な営業活動・内容〉カーテン・カーペット・壁装・イス張・美術工芸織物等
室内装飾織物の製造及び販売

〈担 当 者〉東日本営業本部 営業第三部 課長 大菅脩三
西日本営業本部 営業第二部 課長 山本 稔